

再燃しかねないことを金融庁は懸念したとみられる。

29日に開かれる自民党金融調査会・財務金融部会の合同会議では、問題融資の経緯に加えて、みずほFGに対する金融庁の姿勢についても質問が出ると思われる。

(経済部 山下福太郎)

でも、住民が対応しなければ回避できない。今回の台風27号は、町は全島に避難勧告を出し、避難行動を取った住民は3度だったとみられる。

町村には、日頃から住民に避難の大切さを周知することとみられる。

巨屋防災相は避難勧告・指示のルールで良いのかどうか、詳細を検証したい」と語った。

実際、大島町のように、役所の力が限られている市町村では、自らに関する専門知識を持つ人材確保は難しいだろう。

対策は、災害対策の一義的なものを市町村が負い、それを都道府県が支援し、政府がさらに補助金を出して支援する必要がある。

7回の災害を踏まえ、政府、都府県、市町村は、それぞれの役割を明確にし、避難基準作りなどを支援する必要がある。

総点検してもらいたい。

< 2013.10.29 >

13万部突破!

終末期のあり方を問う、長尾和宏著
衝撃のロングセラー

平穏死 10の条件

胃ろう、抗がん剤、延命治療いつやめますか?

8割が延命治療を望まない今。しかし望まないだけでは、平穏死は叶わない。

具体的などうすればいいのか? が本書に。

定価1400円(税込)

発売たちまち大增刷。

二人に一人ががんになる時代だから、
全日本人必読の書!

10のやめどき

ある日突然、がんと宣告され、手術を受け、抗がん剤治療へ。大病院と町医者との二股をかけながら副作用と向き合い、仕事を続け、緩和医療へ。ひとりの患者さんの生きざまを物語化し、治療のやめどきをシミュレーションした
まったく新しいがんの本!

これはすべての現代医療の終末期における“やめどき”を提案した、小説仕立ての強烈なメッセージ!

読み進めるうちに涙が止まらなくなった。最期まで自分らしく生きる、という意味。医者の本音。病院の思惑。賢くがんと闘う方法が詰まった一冊!

抗がん剤

人生、引き際が一番難しい。抗がん剤治療もそう。しかし引き際さえ間違えなければ、最期まで自分らしく生きて、食べられるのが、がんという病。だから「いつやめるか?」が大切だ。



医師 長尾和宏

定価1400円(税込)

ブックマン社

〒101-0065 千代田区西神田3-3-5 TEL 03-3237-7777
FAX 03-5226-9599 お近くの書店にない場合は、弊社まで。